

科目名	博物館資料論	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	松岡 千寿		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標]</p> <p>①博物館における資料の収集・保管・調査研究についての基礎的知識を身につけることができる。 ②博物館資料の取り扱い方や整理方法などの技術・能力を習得することができる。</p> <p>[授業概要]</p> <p>博物館に勤務する専門職員(学芸員)にとって、資料の収集・保存・公開・展示・活用・調査研究は、基本となる仕事である。そのなかで博物館資料は、博物館の基本的な要素であり、博物館は資料がなければ成り立たない。本講義では、博物館資料の概念を示し、資料の収集・取り扱い方・整理・調査研究などの基本事項を学び、資料の役割を深く理解することをめざす。学芸員の経験を有する教員が、その経験を活かし、実際の博物館資料を用いて実践的な技能の習得も行う。なお、本講義では博物館現地学習も行う予定である。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>博物館資料に関する多くの知識を身につけるため、教科書の該当ページや講義中に配布した資料を読み返すなど、復習を心がけてください。余暇などを利用して博物館を訪れてください。予習復習合わせて4時間程度。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス(博物館資料論の概要) 2. 博物館資料とは(モノから資料へ) 3. 3～4の間で1回学外研修(博物館見学) 4. 3～4の間で1回学外研修(博物館見学) 5. 博物館資料の収集(収集の理念と方法) 6. 博物館資料の分類と整理(分類方法と収蔵) 7. 7～8の間で1回学外研修(博物館見学) 8. 7～8の間で1回学外研修(博物館見学) 9. 博物館資料の調査研究(保存と研究、それぞれの視点) 10. 10～11の間で1回学外研修(博物館見学) 11. 10～11の間で1回学外研修(博物館見学) 12. 博物館資料の取り扱い(1)(調書作成) 13. 博物館資料の取り扱い(2)(調書作成) <p>※学外研修として、特色ある博物館見学を複数回行います。学外研修の出席は必須とします。</p>			

科目名	博物館資料論	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	松岡 千寿		
<p>[成績評価方法] 授業中の課題とワークショップ(50%)、レポート(50%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業中の課題・ワークショップやレポートについては、授業の中で講評を加える。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 史学2-1/講義や演習を幅広く受講することにより、正確な知識と論理的な思考力を身につけ、様々な問題をその歴史的背景に照らして客観的に考察する能力を有している。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>学科DP番号/DP内容: 史学2-5/演習の研究発表ならびに授業のレポートや卒業論文の作成を通じて、正確で論理的な思考力と、口頭と文章による的確な表現力を有している。 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_: 問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法: 上記、成績評価方法による</p> <p>[教科書(ISBN)] 『新時代の博物館学』ほか適宜プリントを配布する。 著者名: 全国大学博物館学講座協議会西日本支部編 出版社: 芙蓉書房出版</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			

S54010 [LHI3-001]